

# 木崎中だより

7号

平成28年11月5日(土)  
さいたま市立木崎中学校  
048(886)4302

全ての人に平等なもの — 時間 —

校長 大澤 敬

朝夕に肌寒さを感じる季節になりました。日が暮れるのもすっかり早くなり、部活等で放課後活動できる時間も短くなってきました。暗い中での下校になりますので、安全には十分に注意してください。

さて、今回は時間の使い方について書こうと思います。秋の夜長と言いますが、学校から帰る時間も夏よりずっと早くなり、家で過ごす時間が増えていると思います。早く帰った時間を皆さんはどう使っているのでしょうか。私たちが生まれながらに平等に持っているものが時間です。年齢や地位に関係なく、私たちは平等に1日24時間という時間を持っています。しかしその使い方は人それぞれ、千差万別です。学校にいる時間が減り、自由に使える時間が少し増えたこの時期に自分の時間の使い方を考えてみてはどうでしょうか。

「時は金なり」という諺があります。これは「Time is Money」直訳したものだといわれていますが、言ったのは科学者、またアメリカ独立の功労者で有名なベンジャミン・フランクリンだそうです。「時間はお金と同じように大切なものだから、無駄にしないように」という意味で使われますが、彼は成功した実業家でもあったので、実は「時間はお金を生む。だから時間の浪費はお金の浪費と同じことだ」という実利から来た言葉と解釈することもあるそうです。皆さんは中学生ですから、皆さんの立場でこの諺を解釈すれば、「時間を無駄にするな、さもないと将来の財産になることをみすみす逃すことになるよ」といったところでしょうか。学校で勉強をして様々な力を付ける、これは自分の財産になります。友達をたくさん作り人間関係を豊かにする、部活動で身体や精神力を鍛える、これも将来の自分にはかけがえのない財産になります。読書をしたり好きな音楽を聴いたりする、疲れたら休息をとる。これも心身に大切なことです。自分にとって有益な時間の使い方をしている人は「時は金なり」「Time is Money」を実践できている人です。

しかし人間は弱いもので、自分にとって何の財産にもならない時間の使い方をしてしまうことがあります。私もそうです。別に観る必要のないテレビ番組を惰性で観ていることがよくあります。考えてみれば無駄な時間です。休息を取ること大切ですが、疲れていてもいなくても同じことを繰り返しては無駄だと言わざるを得ません。その分ウォーキングでもした方がよっぽど心身ともに利益があるはずですが、分かっているにもかかわらず断ち切ることができません。時間を管理することは大人にとっても難しいことなのです。

下校時刻が早まり増えた分の時間はどう使っているか考えてみましょう。中学生は忙しいので心身を休める時間にしてもかまいませんし、使い方は自由です。しかし増えた時間を何に使ったかわからないような無自覚な使い方は、時間を無駄にしているだけです。貴重な時間をSNSなどに費やし、リフレッシュするどころかストレスをためてしまえば「時は金なり」の逆になってしまいます。自分にとって利益になる時間の使い方はどのようなものか、時間に追われるのではなく、自分で時間を管理する習慣や力をこの秋の夜長の季節に付けてみたらどうでしょうか。時間は全ての人々が平等に持っています。しかしそれをどう使うかで結果は平等ではなくなります。それは皆さんの自覚次第です。